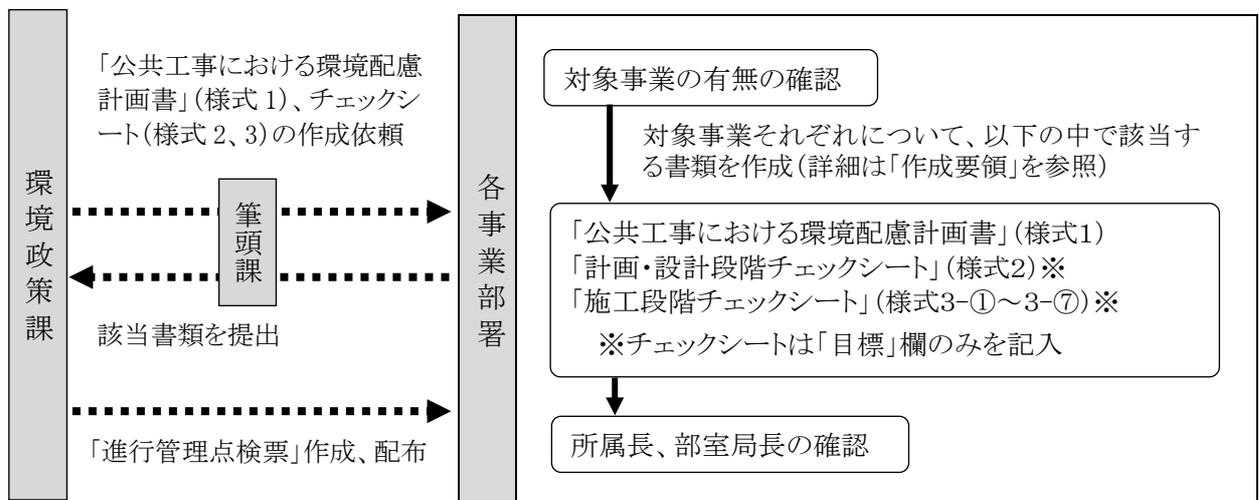


第二章 実施方法

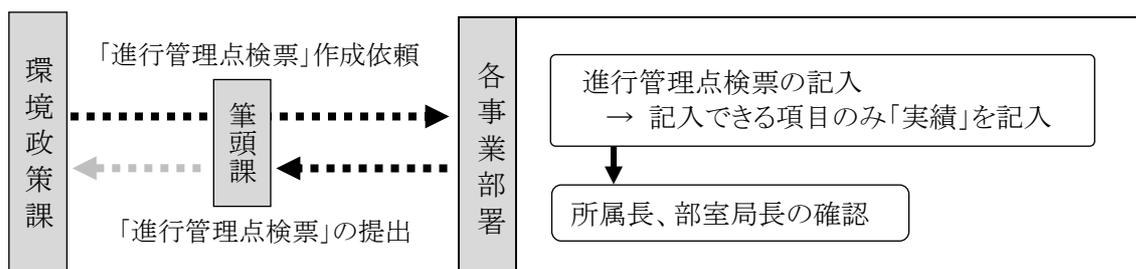
1 年度における書類提出等の流れ

各事業部署のエコ推進員は、以下の手順で、公共工事における環境配慮についての進行管理を行います。

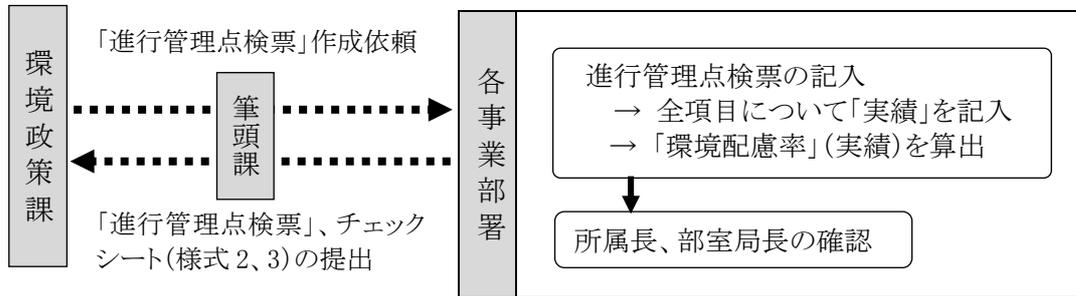
① 年度当初



② 各四半期終了後（工事終了日が属する四半期を除く）



③ 年度終了時・工事終了日が属する四半期の終了時



2 対象事業

対象事業は、以下(1)～(3)の要件をすべて満たす事業とします。

- (1) 市が実施する公共工事(PFI事業を除く)である。
- (2) 計画・設計段階において、別表1に掲げる事業種類に該当する。
- (3) 施工段階において、別表2に掲げる工事規模に該当する。

※各事業部署において、同年度内に5件を超える該当事業がある場合には、予算額上位5件の事業についてのみ必要書類を作成すればよいものとします。(5件以外の事業については、書類作成は不要とするものの、本方針に沿い工事を実施します。)

ただし、予算額上位5件の事業を選出した結果、事業担当者が重複する場合、もしくは工事内容の類似する事業が重複する場合には、事業担当者や工事内容が重複しないように可能な限り調整して、事業を5件選択するものとします。

[別表1] 対象とする事業種類

- | | |
|-----------------|----------------|
| ① 道路の整備 | ⑦ 廃棄物処理施設の整備 |
| ② 建築物の建設、工作物の設置 | ⑧ 市街地の整備 |
| ③ 下水道の整備 | ⑨ 農業地域の整備 |
| ④ 公園の整備 | ⑩ 工業団地、工業用地の造成 |
| ⑤ 河川の整備 | ⑪ 住宅団地の造成 |
| ⑥ 水道の整備 | |

※⑦～⑪については、別表2に掲げる工事が複数組み合わせられた計画等も含まれます。

[別表2] 対象とする**工事規模**

① 道路工事	3000 万円以上
② 建築工事	1 億 円 以 上
③ 解体工事	3000 万円以上
④ 下水道工事	3000 万円以上
⑤ 造園工事	3000 万円以上
⑥ 河川工事	3000 万円以上
⑦ 水道工事	3000 万円以上

※工事規模の金額は、**契約金額**または**予算額**とします。

3 作成要領

①全般について

- ・「公共工事における環境配慮計画書」(様式1)およびチェックシートは、**対象事業それぞれ**について作成します。
- ・事業の進捗に伴い**所管が変更**となる場合は、**所管が移った部署**において評価を行います。
- ・複数の部署にまたがる事業については、**該当部署間**において協議し、書類作成および進行管理等を行うこととします。
- ・**年度当初**において、作成および提出を要する書類は、以下のとおりとします。

事業予定	提出書類
年度中に、「 計画・設計 」および「 施工 」を実施する事業	<ul style="list-style-type: none"> ・「公共工事における環境配慮計画書」(様式1) ・「計画・設計段階チェックシート」(様式2) ・「施工段階チェックシート」(様式3-①～3-⑦)
年度中に「 計画・設計 」を行い、「 施工 」はしない事業	<ul style="list-style-type: none"> ・「公共工事における環境配慮計画書」(様式1) ・「計画・設計段階チェックシート」(様式2)
年度当初において、 既に「計画・設計」が終了 しており、当該年度においては「 施工 」を行う事業	<ul style="list-style-type: none"> ・「公共工事における環境配慮計画書」(様式1) ・「施工段階チェックシート」(様式3-①～3-⑦)

- ・**年度途中**において、**年度当初に予定していなかった対象事業が発生**した場合には、速やかに、「公共工事における環境配慮計画書」(様式1)および該当するチェックシートを作成し、環境政策課へ提出することとします。

- ・事業が複数年度に及ぶ等により、年度中に事業の各段階が終了しない場合であっても、年度終了後(第4四半期終了後)の時点で評価を行います。全く評価できない場合は、すべてのチェック項目で「該当しない」を選択します。

②「公共工事における環境配慮計画書」(様式1)について

- ・「事業段階」は、「計画・設計段階」「施工段階」の一方もしくは両方を選択します。
- ・「運用基準」には、環境配慮の根拠となる法令、計画等を記入します。
- ・「計画・設計段階」および「施工段階」のチェックシートで算出した「合計点数」「該当項目数」を、該当欄に記入します。「合計点数」「該当項目数」をもとに、「環境配慮率(%)」を計算します。「環境配慮率」は、小数点第二位を四捨五入し、小数点第一位まで算出します。

$$\text{環境配慮率} = \frac{\text{「計画・設計段階での合計点数」} + \text{「施工段階での合計点数」}}{3 \times (\text{「計画・設計段階での該当項目数」} + \text{「施工段階での該当項目数」})} \times 100$$

(計算例) 年度中に「計画・設計」を実施し、「施工」は行わない。「計画・設計段階チェックシート」における「合計点数」が40点、「該当項目数」が30項目であるとき

$$\text{環境配慮率} = \frac{40\text{点} + 0\text{点}}{3 \times (30\text{項目} + 0\text{項目})} \times 100 \approx 44.4\%$$

③「計画・設計段階チェックシート」(様式2)について

- ・すべての事業(工事)で共通のチェックシートとなります。
- ・年度当初においては、各項目の「目標」欄に、実施する予定であるものには「3」、実施する予定はないものには「0」、該当しないものには「-」を記入します。
- ・チェックシートに列挙された項目の他に、環境配慮を行った事項がある場合には、「その他」欄にその内容を記入し、「3」「0」「-」による評価を行います。
- ・各四半期が終了した際には、その時点で評価が可能な項目の「実績」欄に、実施したのものには「3」、実施しなかったものには「0」、該当しなかったものには「-」を記入します。
- ・年度終了時もしくは工事終了日が属する四半期の終了時においては、全項目の「実績」欄に「3」「0」または「-」を記入します。財政上等の理由により、結果として「採用、活用、設置」等が実現されない場合であっても、実現に向け「努めた」「検討した」「推進した」等の事実がある場合には「3(実施)」を記入します。
- ・「目標」欄および「実績」欄に記入された数値(点数)を合算し、「目標」および「実績」の「合

計点数」を算出します。

- ・「該当項目数」には、「目標」「実績」のそれぞれについて、「3」を記入した項目数と「0」を記入した項目数を加算した数値を記入します。「-」を記入した項目の数は、カウントしません。

④「施工段階チェックシート」(様式3-①～3-⑦)について

- ・様式3-①から様式3-⑦の7枚のシートの中から、事業(工事)内容に最も合致するシートを事業部署において選択します。チェックシートを選択にあたっては、事業名称にとらわれることなく、工事内容に最も即したものをを用いることとします。
- ・年度当初においては、各項目の「目標」欄に、「評価基準」の中から該当する数値(点数)を選択して記入します。該当しない項目については「-」を記入します。
- ・チェックシートに列挙された項目の他に、環境配慮を行った事項がある場合には、「その他」欄にその内容を記入します。評価基準は、他の項目を参考に、事業部署で独自に設定するものとします。
- ・各四半期が終了した際には、その時点で評価が可能な項目の「実績」欄に、「評価基準」中で該当する数値(点数)、もしくは「-(該当しない)」を記入します。
- ・年度終了時もしくは工事終了日が属する四半期の終了時においては、全項目の「実績」欄に、「評価基準」中で該当する数値(点数)、もしくは「-(該当しない)」を記入します。
- ・「目標」欄および「実績」欄に記入された数字(点数)を合算し、「目標」および「実績」の「合計点数」を算出します。
- ・「該当項目数」には、「目標」「実績」のそれぞれについて、「3」「2」「1」および「0」を記入した項目数の合算値を記入します。「-」を記入した項目の数は、カウントしません。
- ・施工機械(クレーン、ブルドーザ、マカダムローラ等)に係るチェック項目については、「計画・設計」「施工」の各段階を通じて同一の機械が使用されるような場合、同一機械に係る重複する項目について、チェックを省略(該当しない(「-」)を選択)できるものとします。

公共工事における環境配慮計画書

記入例

作成日: 平成〇〇年〇〇月〇〇日

所属名: □□□□□課

所属長: △△△ △△

エコ推進員: ◇◇ ◇◇◇◇

事業(工事)名	第〇〇〇号橋架け換え工事
事業段階	<input checked="" type="checkbox"/> 計画・設計段階 <input type="checkbox"/> 施工段階
実施場所	川越市□□□
事業(工事)期間	平成△△年△△月 ~ 平成◇◇年◇◇月(予定)
事業(工事)費	〇〇〇〇〇〇円(予算額)
運用基準 (関連法令、計画等)	・公共工事における環境配慮指針 ・□□□□□□□□法
事業種類	<input checked="" type="checkbox"/> 道路 <input type="checkbox"/> 建築物・工作物 <input type="checkbox"/> 下水道 <input type="checkbox"/> 市街地 <input type="checkbox"/> 公園 <input type="checkbox"/> 河川 <input type="checkbox"/> 廃棄物処理施設 <input type="checkbox"/> 農業地域 <input type="checkbox"/> 水道 <input type="checkbox"/> 工業団地・工業用地 <input type="checkbox"/> 住宅団地
工事種類	<input checked="" type="checkbox"/> 道路 <input type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 解体 <input type="checkbox"/> 下水道 <input type="checkbox"/> 造園 <input type="checkbox"/> 河川 <input type="checkbox"/> 水道
事業(工事)内容	工事延長=〇〇〇m 橋長=□□□m 巾員=△△m
点検責任者 (事業担当者)	〇〇 〇〇

	計画・設計段階	施工段階	合計
合計点数	78 点 ①	0 点 ②	78 点 ①+②
該当項目数	32 項目 ③	0 項目 ④	32 項目 ③+④

環境配慮率
81.3 %
$\frac{①+②}{3 \times (③+④)} \times 100$

※「合計点数」および「該当項目数」の内訳は、「計画・設計段階チェックシート」および「施工段階チェックシート」のとおり

小数点第二位を四捨五入